

カルシウム摂取と歯周病との関連

【背景】

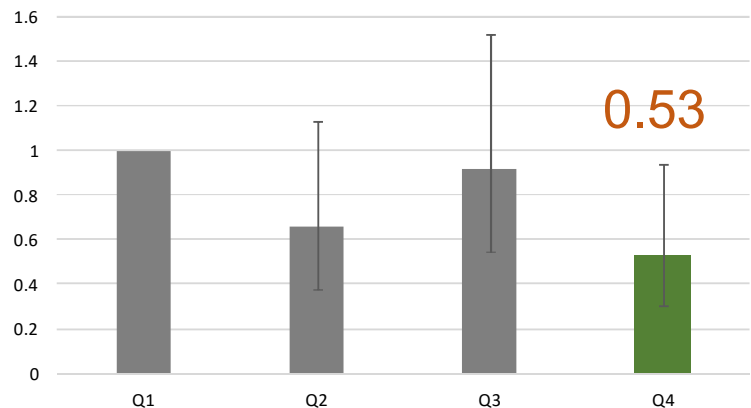
歯周病は慢性の炎症性疾患で歯槽骨の破壊を特徴とします。カルシウムは、歯槽骨を含め、骨の代謝に重要な役割を果たしている栄養素ですが、カルシウム摂取と歯周病との関連に関する疫学研究はあまり多くはありません。今回、カルシウム摂取と歯周病との関連について解析しました。

【方法】

九州・沖縄母子保健研究のベースライン調査に参加頂き、出産後 1 年までの間に歯周ポケット測定 のデータが得られた 1177 名の女性うち、今回の解析に使用する変数に欠損のない 1162 名の女性 を対象としました。ベースライン調査時に、自記式食事歴法質問調査票により、過去 1 ヶ月の食事摂 取の情報を得ました。年齢、居住地域、家計の収入、喫煙習慣、歯磨き頻度、歯間ブラシの使用の 有無、家計の年収、教育歴について補正しました。カルシウムの摂取は、総エネルギーで補正後、4 分位して解析しました。

【結果】

カルシウム摂取の最も少ない群(Q1) を基準にすると、2 番目に少ない群(Q 2)、3 番目に少ない群(Q3)、最も多 い群(Q4)の補正オッズ比はそれぞれ、 0.66、0.92、0.53 でした。Q4 では、有 意な負の関連を認めました。傾向性P 値は 0.07 と負の量－反応関係の傾 向がありました。



【結論】

カルシウム摂取は歯周病に予防的なのかもしれません。

【出典】

Tanaka K, Miyake Y, Okubo H, Hanioka T, Sasaki S, Miyatake N, Arakawa M. Calcium intake is associated with decreased prevalence of periodontal disease in young Japanese women. *Nutr J.* 2014; 13: 109